

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北茨城市	代表者名	豊田 稔		
担当者部署	市長公室 企画政策課	連絡先電話番号	0293-43-1111		
担当者役職	主任	担当者氏名	志賀 奈津美	連絡先E-mail	
住所	319-1592 茨城県北茨城市磯原町磯原1630番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">課長級職員に対し、DX推進の意義を認識することができる研修を実施していただけたため。北茨城市の直近の状況を踏まえ、身近に感じる話題を交えた研修により、研修受講者の理解度が高まったため。DX推進担当部署としての進め方に対する助言や、先進的な事例を提供いただくことができたため。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、一般職員向けの研修の実施に向け、ご支援よろしくお願いたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月25日	支援・助言（実地）	有	令和6年12月26日	1126
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月2日	支援・助言（実地）	13時30分	17時00分	
				活動時間（分）	210
3-2. 派遣場所	会場名	北茨城市役所	最寄駅	JR常磐線磯原駅	
	所在地	茨城県北茨城市磯原町磯原1630	最寄駅からの交通手段	タクシー、市バス、徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	課長級職員及びDX推進担当職員	28人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市ではDX推進計画を令和4年度末に策定し、現在は推進計画に基づき取組みを進め始めたところである。 しかし、計画を推進するためにも庁内業務のDX化に向け職員一人一人が必要を理解しDXマインドを持ち自身の業務を見直すことが必要であると考えている。 まずは、職員自らが市役所の窓口に来た市民の立場を体験して窓口業務の改善の意識を持つため、窓口体験調査の実施を検討しているが、実りのある調査とするためには、知見のある方からのアドバイスが必要であると考えている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none">自治体のDX推進とは何か、イメージができるようになること。管理職級職員がDX推進の必要性を理解し、部下職員のマネジメントを行うためのDXマインドを持つことができるようになること。今回実施する、管理職級職員の研修結果を踏まえ、一般職員向けの研修の内容を決定すること。DX推進担当職員目線で課題と感じていることについて助言を頂く。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none">市長部局だけでなく、市の全部局の課長級職員に対して、DX実現のための現場マネジメント変革研修を実施いただいた。研修後、次回の一般職員向けの研修内容を決定した。市の状況を踏まえ、DX推進担当職員が推進における疑問点や、現状の課題に対する助言を頂くことができた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> DX推進計画を策定後、初めてのDX推進のための研修を実施することができた。なお、研修後に実施したアンケートにおいて、自治体のDX推進とは何かイメージができるようになった、と回答があった。 管理職級職員がDX推進の必要性を理解し、部下職員のマネジメントを行うためのDXマインドを持つことができるようになることを目指していたが、研修後のアンケートにおいて、参考になった内容として最も多く回答があったのが、人材育成に関する資料ページであった。管理職級職員にとっては、DXとは何かというそのものに対する疑問はもちろん、DX推進における自身の部下職員のマネジメント面についても初めて経験するものであることを、DX推進担当職員が気付くことができた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>実施後のアンケートにおいて、96.3%の職員が「所管する事業の実務に反映したい内容があった」「自治体業務のDX推進の必要性を実感した」と回答しており、課長級職員の意識向上に繋がった。</p> <p>また、参考になった資料箇所を尋ねたところ、DX推進における自身の部下職員のマネジメントについてのページを挙げる回答が最も多く、事務局としても今後の管理職向けの指導の参考となった。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> DXに対する職員の意識向上を図る 窓口体験調査を実施し、その結果を基に「書かない窓口」を実現する 	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

